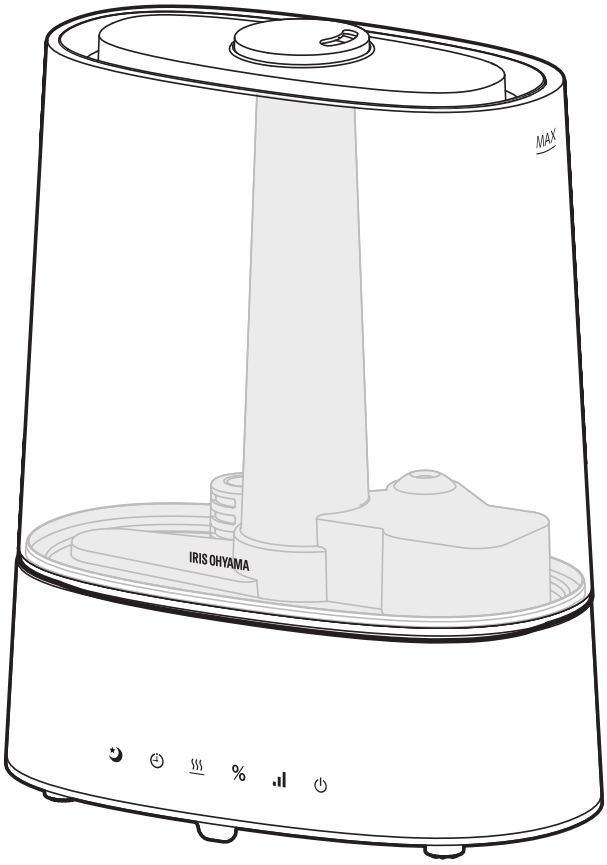
取扱説明書（WEB）

上給水超音波ハイブリッド加湿器

型番：AHM-HUT55A［室内・家庭用］



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
  無償保証の対象外になることがあります。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- **ご使用の前に「安全上の注意 P7」を必ずお読みください。**
- WEB マニュアルについては、「WEB マニュアルについて P2」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

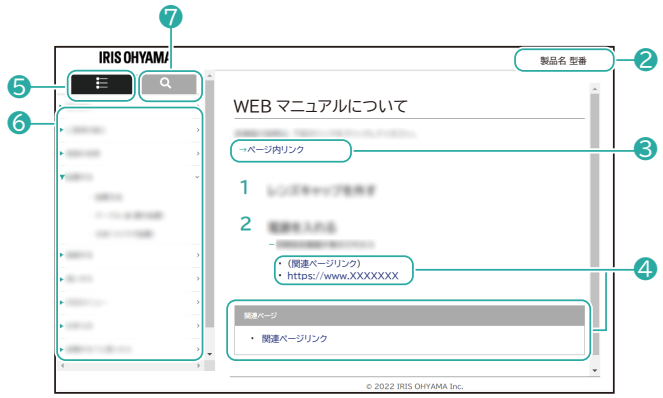
ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
・Microsoft Edge ブラウザ（最新版）
・Google Chrome ブラウザ（最新版）

－WEB マニュアルについて

■スマートフォン

■パソコン



❶ メニュー一覧/検索 切替ボタン（スマートフォンのみ）

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

❷ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

❸ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

❹ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

❺ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

❻ メニューリスト

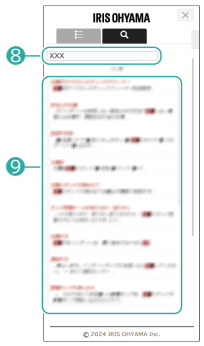
メニュー一覧を表示させます。

❼ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

ー検索について

■スマートフォン



■パソコン

⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に. 7

安全上の注意. 7

使用上の注意. 11

各部の名称. 12

設置場所. 16

使いかた. 17

給水のしかた. 17

使いかた. 19

切タイマー. 21

おやすみモード. 21

ヒーター. 21

お手入れ. 22

本体・水タンク・ふた・蒸気筒. 23

アロマトレー・アロマパッド. 24

本体内部・水位センサー・超音波振動子. 25

ヒーター・カルキ防止用フェルト. 25

本体外側. 26

吸気口. 26

こんなときは. 27

故障かな？と思ったら. 27

保管のしかた. 31

廃棄について. 31

その他の情報. 32

仕様. 32

保証とアフターサービス. 33

保証規定. 34

お問い合わせ. 35

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この**「安全上の注意」**をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ 警告 P7

→ 注意 P9

図記号の意味

注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うことを示す記号です。

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 分解禁止	・**分解・修理・改造をしない** 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P35（ 電話をかける）にご相談ください。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
	・**異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く** 火災・感電・発煙のおそれがあります。 〔異常例〕 - 異常な音やにおいがする - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 運転中時々電源が切れる - 触れるとピリピリ電気を感じる ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P35（ 電話をかける）へお問い合わせください。
	・**スプレーをかけない（殺虫剤・整髪料・潤滑油など）** ・**引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない** ・**油煙や金属粉じんの舞う場所や近くで使用しない** 引火して火災の原因になります。
	・**水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない** ・**水につけたり、水をかけたりしない** 火災・感電の原因になります。

	・**すき間や蒸気吹き出し口から指や金属などの異物を入れない** 感電・やけど・けがなどの原因になります。
	・**子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児に触れさせたりしない** 感電・やけど・けがなどの原因になります。
	・**屋外で使用しない** 故障してショートや火災の原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	・**電源プラグのほこりは定期的に取る** ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・**電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む** ショートによる火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	・**お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く** 感電・けがの原因になります。
 ぬれ手禁止	・**ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない** 感電・やけど・けがの原因になります。
	・**交流 100V 以外では使わない** ・**コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない** 火災・感電・発火の原因になります。 ・**電源コードを束ねて使用しない** 過熱して、火災・やけどの原因になります。 電源コードは必ずのばして使用してください。 ・**電源コードを傷付けない** ・**持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない** 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない** ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、修理専用コール P35(電話をかける)へお問い合わせください。 ・**乳幼児に電源プラグを触れさせない** 感電・けがの原因になります。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

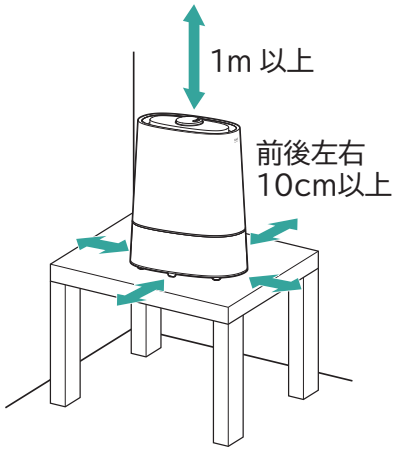
	・**水タンクの取り付け・取り外しは、必ず運転を停止してから行う** 水もれや周囲の汚損の原因になります。
 火気禁止	・**火気や暖房機器などに近づけない** ・**可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない** 火災の原因になります。
	・**業務など家庭用以外で使用しない** 本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外で使用すると、火災などの原因になります。
	・**乗ったり、寄りかかったりしない** ・**幼児の手の届く範囲では使用しない** 感電・やけど・けがなどの原因になります。
 プラグを抜く	・**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く** 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・**長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
	・**水は毎日新しいものに取り替える** 水タンクは毎日洗い、常に清潔にしてください。 古い水を使用すると、異臭を発したり健康を害する原因になります。 ・**1 週間以上使用しない場合は、必ず水タンクの水を捨てる** 水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。 ・**凍結しそうなときは、水タンクの水を捨てる** 凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。
	・**水タンクに水道水以外は使用しない** 40℃以上の水・化学薬品・芳香剤(アロマオイルなど)・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。 かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。
	・**吹き出し口・吸気口・センサー部をふさがない** 吹き出し口・吸気口・センサー部をタオルやカーテンでふさがないでください。 水もれや過熱の原因になります。

- **水タンク・ふたを正しく取り付ける**
- **ふたは必ず正しく取り付けて使用する**
  水もれや周囲の汚損の原因になります。

設置・移動するときは

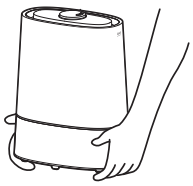
- **不安定な場所に置かない**
- **ホットカーペットなど、電気製品の上に設置しない**
  転倒すると水がこぼれ、火災・感電・電気製品の故障の原因になります。
  転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。
  万一電源が入らない場合は、アイリスコールにご連絡ください。

- **加湿された風が、壁・家具・カーテン・電気製品などに直接当たらないところに設置する**
- **設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける**
  壁・家具・カーテンなどの汚損の原因になります。
  また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。
  吹き出し口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けないでください。



- **水平で安定した台の上で使用する**
  床ぬれのおそれがありますので、必ず台の上に設置してください。
  毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して周囲の汚損の原因になります。
  また、吸気口がふさがれ、蒸気が出にくくなることがあります。
  不安定な台や高いところに設置すると、落下してけがや家財の破損の原因になります。

- **移動するときは、本体を下から持つ**
  水タンクに水が入っているときは、先に水タンクを取り外してから移動させてください。水もれや周囲の汚損の原因になります。



- **移動やお手入れは電源を切り、本体が完全に冷めてから行う**
  本体内の水は加熱されているので、やけどやけがのおそれがあります。
  完全に冷めるまで本体や内部の部品に触れないでください。

使用上の注意

- **直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しない**
  変形・変色したり、誤動作することがあります。

- **ベンジンやシンナーで拭いたりしない**
  破損・故障の原因になります。

- **ラジオやテレビに近づけない**
  ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

- **スピーカーや IH 調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには置かない**
  正常に動作しないことがあります。

■使用環境について

- **室温は 5～35℃で使用してください。**
  室温が低いと床ぬれや結露がおこりやすくなります。
  自動モードに設定したり、室温を上げたりして使用してください。窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。
  窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。
  また、水道水中のミネラル成分が家具やテレビなどに付着後乾燥し、白い粉のようになることがあります。
  有害ではないので、タオルなどで拭き取ってください。

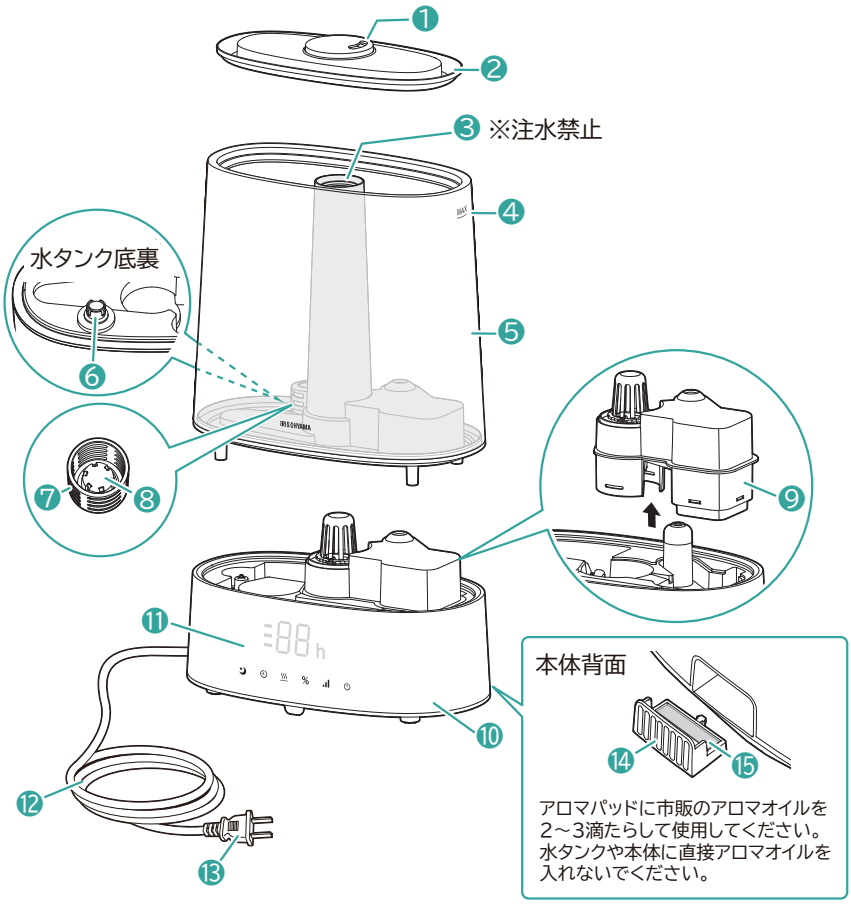
- **加湿のしすぎによる床ぬれや結露に注意してください。**
  部屋の環境に注意しながら、こまめに加湿量を調節してください。
  使用環境によっては床ぬれを防ぐために、運転を自動的に停止したり、設定した出力よりも弱い出力に切り替わる場合がありますが、故障ではありません。

- **エアコンや暖房機器の風が当たる場所、ドア付近※などは避けてお使いください。**
  湿度の感知方法・構造などの違いにより、市販の湿度計と本製品の現在湿度が異なることがあります。また、空気の流れが良い場所と悪い場所、床や畳などの低い場所と床から離れた場所などは湿度に差があるので、現在湿度の表示は異なります。
  ※ドアの開閉によっても、湿度が安定しません。

■廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称



❶ 吹き出し口

❷ ふた

❸ 蒸気筒上

❹ 満水位置

❺ 水タンク

❻ 止水弁

❼ フィルター

❽ 銀ビーズユニット

❾ 蒸気筒下

❿ 本体

⓫ 表示部・操作部

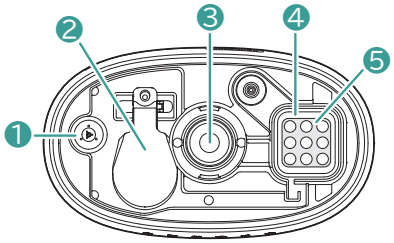
⓬ 電源コード

⓭ 電源プラグ

⓮ アロマトレー

⓯ アロマパッド

ー 本体内側



❶ 水位センサー

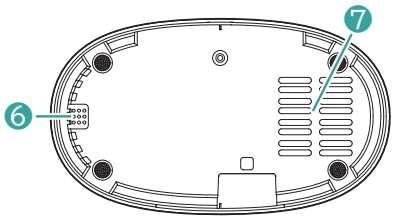
❷ フロート

❸ 超音波振動子

❹ ヒーター

❺ カルキ防止用フェルト

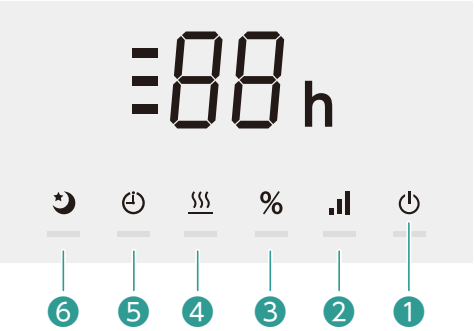
ー 底面



❻ 吸気口

❼ センサー部

表示部・操作部

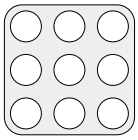


❶ 電源ボタン
❷ 加湿設定ボタン・ランプ
❸ 湿度設定ボタン・ランプ
❹ ヒーター ON/OFF ボタン・ランプ
❺ 切タイマーボタン・ランプ
❻ おやすみモードボタン・ランプ

ー 付属品

お手入れブラシ

カルキ防止フェルト



アロマパッド×2

設置場所

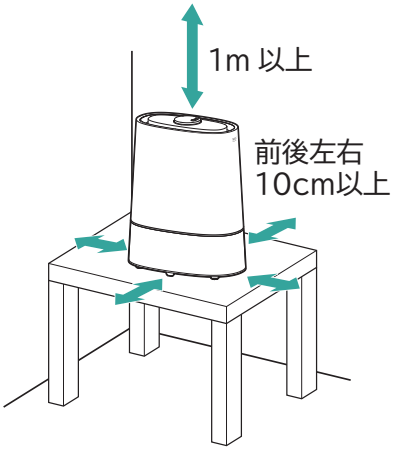
―設置についての注意

- **不安定な場所に置かない**

- **ホットカーペットなど、電気製品の上に設置しない**
  転倒すると水がこぼれ、火災・感電・電気製品の故障の原因になります。
  転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。
  万一電源が入らない場合は、アイリスコールにご連絡ください。

- **加湿された風が、壁・家具・カーテン・電気製品などに直接当たらないところに設置する**

- **設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける**
  壁・家具・カーテンなどの汚損の原因になります。
  また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。
  吹き出し口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けないでください。



- **水平で安定した台の上で使用する**
  床ぬれのおそれがありますので、必ず台の上に設置してください。
  毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して周囲の汚損の原因になります。
  また、吸気口がふさがれ、蒸気が出にくくなることがあります。
  不安定な台や高いところに設置すると、落下してけがや家財の破損の原因になります。

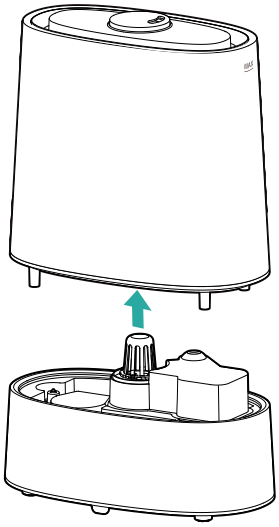
使いかた

給水のしかた

— 水タンクを取り外して

1

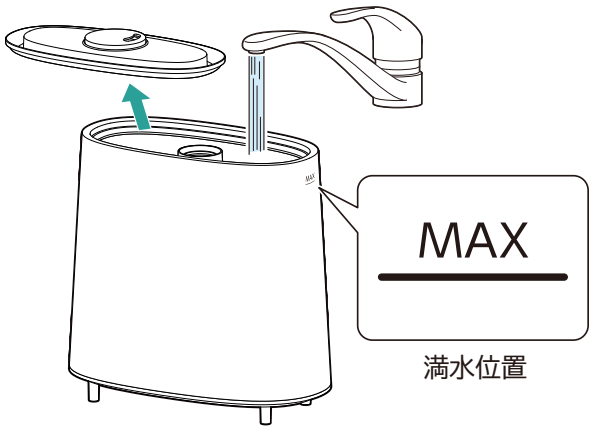
水タンクを取り外す



2

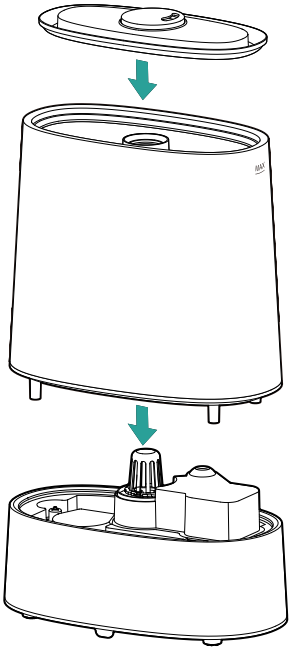
水タンクに水道水を入れる

満水位置(MAX)より水を多く入れないでください。



3

ふたを取り付ける

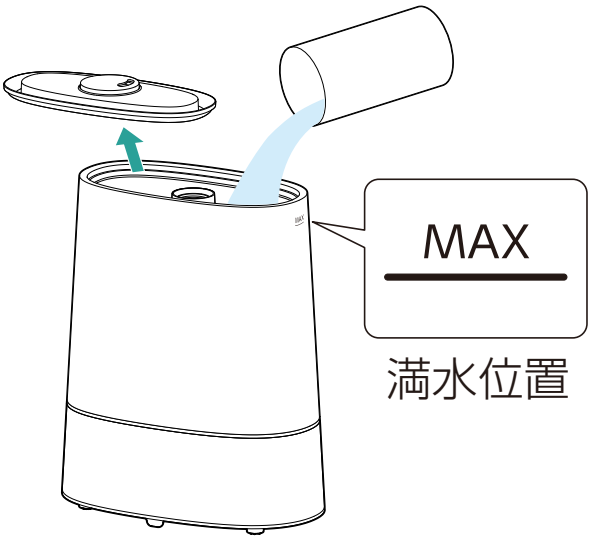


ー 水タンクをつけたまま給水する

コップなどを使用してください。

※ 勢いよく入れすぎないように注意してください。

満水位置(MAX)より水を多く入れないでください。



使いかた

1 **水タンクに給水をする（→給水のしかた P17）**

2 **電源プラグをコンセントに差し込む**

- ブザーが鳴り、操作部が点灯します。

3 **運転を開始する**

を押すと運転を開始します。

初回は、連続モードの設定「弱」、ヒーター「ON」で運転します。

2 回目以降は、前回の設定で運転します。

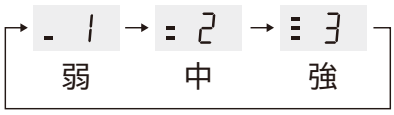
4 **運転モードを選ぶ**

－連続モード（1：弱／2：中／3：強）

湿度センサーの状態にかかわらず、設定した出力で連続運転を行います。

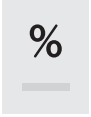
ボタンを押すたびに、運転モードが切り替わります。

自動モードを OFF にすると連続モードに切り替わります。

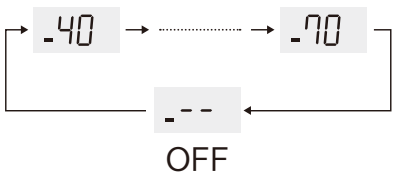


－自動モード（40%～ 70%）

設定した湿度を保つように自動的に湿度を調節し、運転を行います。



ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。



40%～ 70%の範囲で 5%刻みで設定できます。

運転中に設定した湿度を確認するときは、湿度設定ボタンを押してください。

※周囲の湿度が設定に達すると自動で運転を停止し、待機状態になります（ファンは停止せず、吹き出し口から風が出ます）。
設定値より周囲の湿度が 5%下がると自動で運転を再開します。

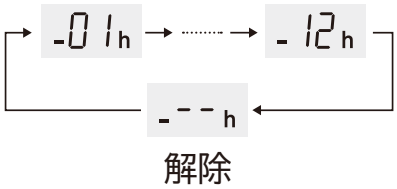
■運転を停止するときは

ボタンを押してください。

切タイマー

設定した時間動作した後に運転を停止し、自動的に電源を切ることができます。

ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。



1 ～ 12 時間の範囲で 1 時間刻みで設定できます。

おやすみモード

ボタンを押すと、点灯中の表示部・ランプが減光し、すべてのブザー音が消音になります。

ヒーター

点灯中ヒーターは ON になっています。

ヒーター ON・OFF ボタンを押すとランプが消灯し、ヒーターは OFF になります。

ON

OFF

- ヒーターを ON にすると、加湿水の温度を上げ、効率的に加湿します。

お手入れ

警告

- お手入れは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。
- 本体は水洗いしないでください。

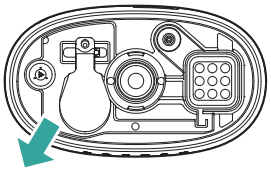
シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

- 使うたび
  本体・水タンク・ふた・蒸気筒 P23
  アロマトレー・アロマパッド P24
- 2 週間に 1 回
  本体内部・水位センサー・超音波振動子 P25
  ヒーター・カルキ防止用フェルト P25
- 定期的に
  本体外側 P26
- 1 か月に1回
  吸気口 P26

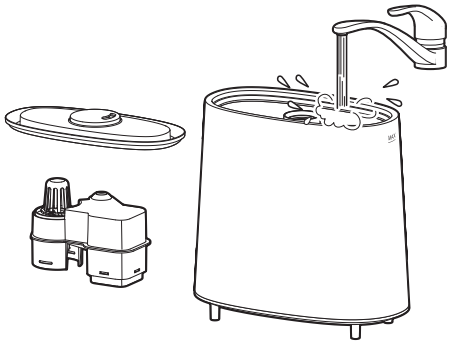
本体・水タンク・ふた・蒸気筒

お手入れ頻度：使うたび

本体に残っている水を捨てる
本体以外は使用するたびに水洗いする



本体の水を捨てるときは、必ず矢印の方向から捨ててください。
電源プラグに水がかからないようにご注意ください。
また、使用直後は水が熱くなっているため、ご注意ください。



※水タンクは 2 か月に 1 回、クエン酸洗浄をしてください。

■クエン酸洗浄

クエン酸水溶液の作りかた
水かぬるま湯（40℃以下）に以下の比率で加え、よく溶かしてください。
クエン酸水溶液：水 3L あたり、市販のクエン酸 20g（または大さじすりきり 2 杯）
濃度が高いと、破損の原因になります。

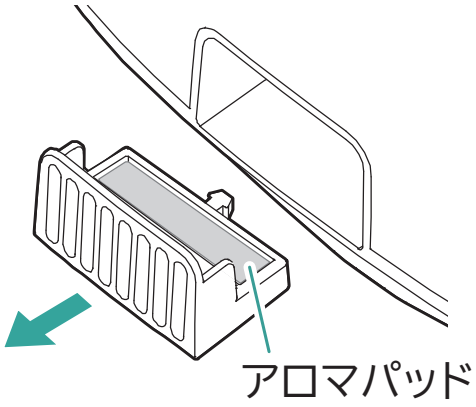
水タンク内の水を捨て、クエン酸水溶液を入れて、2～5 分置いてから水で洗い流してください。

アロマトレー・アロマパッド

お手入れ頻度：使うたび

本体から取り出し、水洗いする

アロマトレーは、本体側に軽く押すと取り出せます。

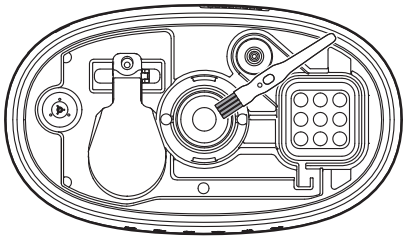


本体内部・水位センサー・超音波振動子

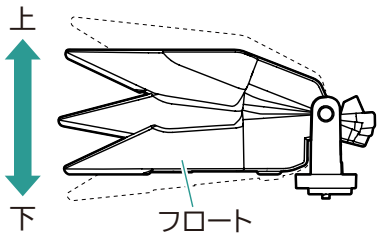
お手入れ頻度：2 週間に 1 回

本体内部・水位センサー・超音波振動子は、付属のブラシまたは綿棒などでやさしく掃除をしてください。

※超音波振動子に汚れや傷が付くと、加湿量が低下した



・ フロートが上下にスムーズに動くのを確認してください。

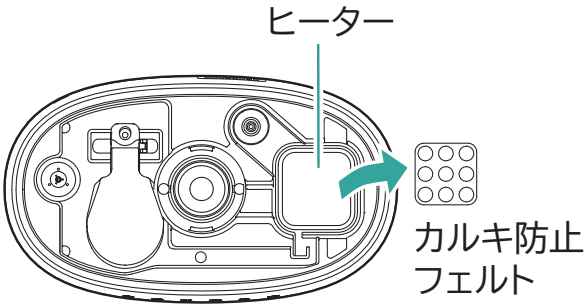


ヒーター・カルキ防止用フェルト

お手入れ頻度：2 週間に 1 回

ヒーターはやわらかい布などで汚れを拭き取る

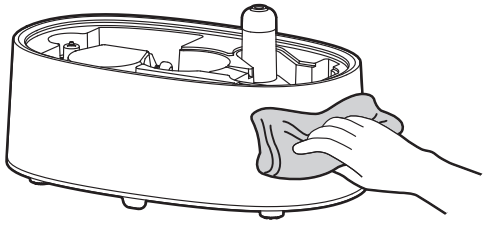
カルキ防止用フェルトは取り外して洗う



本体外側

お手入れ頻度:定期的に

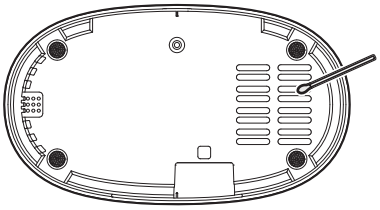
やわらかい布などで拭く



吸気口

お手入れ頻度:1 か月に 1 回

本体のお手入れをする際に確認し、ほこりがたまっていたら、綿棒ややわらかい乾いた布などを使って取り除いてください。



こんなときは

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

ー電源が入らない

→電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。(→使いかた P19)

ー加湿されない

→水位センサーにごみがつまって動かない

水位センサーを掃除してください(→本体内部・水位センサー・超音波振動子 P25)

→フロートの動きが悪い

フロートがスムーズに動くか確認してください(→本体内部・水位センサー・超音波振動子 P25)

ー加湿されない(表示部に E2 を表示)

→水タンクの水を使い切っていませんか？

水タンクに給水してください。(→給水のしかた P17)

ー蒸気の量が少なくなった

→湿度が高くなっている

周囲の湿度が高いと床ぬれ防止のため、自動で加湿量を少なくします。室温を上げたり、換気を行ってください。

→毛足の長いカーペットの上に置いている

水平な台の上に置いてください。

→超音波振動子が汚れている(水あかなどが付着している)可能性があります

付属のブラシまたは綿棒などで、やさしく掃除をしてください。(→本体内部・水位センサー・超音波振動子 P25)

→蒸気筒の吹き出し口が汚れている。(水あかなどが付着している)

蒸気筒のお手入れをしてください。(→蒸気筒 P23)

→吸気口にほこりがつまっている

吸気口のほこりを取り除いてください。(→吸気口 P26)

→水が汚れている

水タンクおよび本体内の水を捨てて、流水で洗ってください。(→本体・水タンク P23)

→ヒーターが汚れている

ヒーターの表面についた汚れを柔らかい布でふき取ってください。(→給水のしかた P25)

ー湿度が上がらない

→部屋が適用床面積より広すぎる

適用床面積以内で使用してください。(→仕様 P32)

→窓やドアが開いている

窓やドアを閉めて使用してください。

ー床がぬれる

→室温が低い

室温が低いと床ぬれが起こりやすくなります。暖房などと併用してください。

→連続運転で加湿している

部屋の湿度が高いときに加湿し続けると、床濡れの原因になります。湿度設定をすることで、加湿のし過ぎを防げます。

ーにおいがする

→本体内部や水タンク内部が汚れている

本体と水タンクをお手入れしてください。(→本体・水タンク P23)

→水タンク内の水が古くなっている

本体と水タンクの水を捨て、お手入れして、新しい水を入れてください。(→水タンク P23)

ー水がこぼれる

→本体・水タンク内に水が入ったまま移動した

移動するときは先に水タンク・本体内の水を捨ててください。

→フロートがきちんと動いていない

フロートが正しく動かないと給水が止まらず、水があふれる原因になります。

フロートがスムーズに動くか確認してください(→本体内部・水位センサー・超音波振動子 P25)

ー加湿されない

→設定湿度に達している

設定湿度に達したときは加湿を停止し、設定湿度を 5%下回ると加湿を再開します。連続で加湿したいときは、加湿設定を OFF にしてください。(→使いかた P19)

ー風だけが出る

→電源が「切」状態になったり、湿度設定で蒸気が出ない

しばらくの間、風だけが出ます。

ー表示部・操作部が減光している

→おやすみモードになっている

を押して、解除してください。(→おやすみモード P21)

ー動作しない(E3 の表示)

→センサーが異常を検知している

アイリスコール P35(電話をかける)へお問い合わせください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコール P35(電話をかける)へお問い合わせください。

ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

長年ご使用の加湿器の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ･電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- 水もれする
- 運転中に異常な音がする
- 電源コードが傷ついている
- その他異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店またはアイリスコール P35（ 電話をかける）に点検をご依頼ください。

保管のしかた

お手入れをして、よく乾燥させてから保管してください。汚れや水分が残ったまま長期保管すると、悪臭やかびなどが発生する原因になります。

- 銀ビーズユニットは、保管する前に約 1 週間ほど自然乾燥させてください。
- 購入時の箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせ、高温多湿の場所を避け、保管をしてください。

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

その他の情報

仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50／60Hz
定格消費電力	260W
水タンク容量	約 6.0L
製品寸法	幅 285×奥行 164× 高さ 359mm(電源コード含まず)
製品質量	約 2.0kg
コード長さ	約 1.2m
最大加湿量	550 m L/h(3(強)の時)
連続加湿時間	約 11 時間(3(強)の時)
適用床面積(目安)※1	木造和室:9 畳 プレハブ洋室:15 畳
使用環境温度範囲	5～35℃

※1 最大加湿量で連続加湿した場合。適用床面積は、保証値ではありません。

※ 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

－保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

－保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内においても無償保証の対象外になる場合があります。
詳しくは保証規定を参照してください。

－保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コール P35(電話をかける)にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

－補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

－アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコール P35(電話をかける)にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。

2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。

3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。

4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコール P35
(電話をかける)にお問い合わせください。

5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
   ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
   ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
   ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
   ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
   ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
   ⑥ 保証書の提示がない場合
   ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール：0120-311-564（通話料無料）

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール：0800-170-7070（通話料無料）

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

お客様サポートはこちら

https://www.irisohyama.co.jp/support/

専用パーツはこちら

https://www.irisohyama.co.jp/support/parts/

製品の最新情報はこちら

https://www.irisohyama.co.jp/